



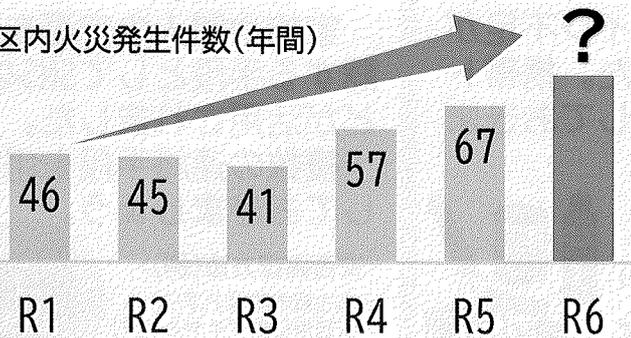
秋の防災運動

11/9 SAT ~ 11/15 FRI

警戒中

中区内火災急増中

中区内火災発生件数(年間)



令和6年8月末現在、中区内では、**47**件の火災が発生し、昨年と同数となっています。(昨年は過去10年で火災件数最多)

また、市内でも最多となっており、出火原因は上位から順に、**たばこ、コンロ、放火**でした。

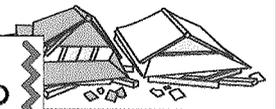
巨大地震発生危機

建物倒壊等による死者数
約**2,100**人

強い揺れによる建物全壊棟数
約**34,000**棟

帰宅困難者数
約**151,000**人

最大震度**7**の地震が発生



液状化による被害

南海トラフ巨大地震による市内被害想定例
<あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震が起きた場合>

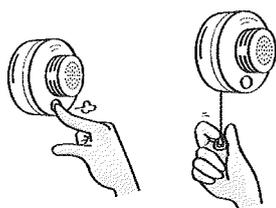
対策は裏面へ 名古屋市中消防署

いつか来る災害に、最大限の備えを！

火事を起こさない、被害を防ぐには

住警器を設置・点検しましょう！

住警器（住宅用火災警報器）は設置されていますか。昨年、住警器により火災を覚知した事例は市内で27件ありました。設置後は、6ヶ月を目安に点検し、10年経過後は機器ごと取替えましょう。



点検は、ボタンを押すか、ひもをひっぱりましょう

動画でCHECK▽



<住警器の点検・交換>

コンロの取扱いにご注意を！

「IHコンロは安心」ではありません。昨年、市内では、IHコンロを原因とする火災は6件ありました（コンロ全体の約1割）。コンロを使う際は「その場を離れない」「コンロ周りに燃えやすいものを置かない」ようにしましょう。



たばこ火災は気付かないうちに…

たばこ火災の特徴は無煙燃焼（炎を有しない燃焼）を続ける点です。

寝たばこは、絶対にやめましょう。吸殻は水の入った灰皿へ捨てましょう。

動画でCHECK▽

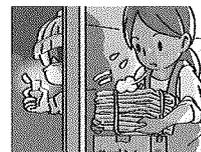


<寝たばこ（無煙燃焼）>

ゴミは収集日の朝に出しましょう！

昨年、市内であった放火火災のうち、全体の約半数（55.2%）が21時から6時までの間に発生しています。

屋外灯の点灯なども効果的です。

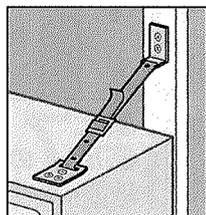


地震が起きても安心な備えを！

～能登半島地震を踏まえて～

転倒防止対策の実施

転倒防止対策を実施したことにより、多くの家具等が地震の揺れによる転倒を免れました。



転倒防止対策（例）

備蓄品の備え

断水によるトイレ不足が問題になりました。携帯トイレなどを保管しておきましょう。

<役に立つ備蓄品例>

- ・サランラップ
⇒お皿に巻く（皿洗い不要）
- ・ポリタンク（水の保管）
- ・手回し充電ができるラジオ
- ・スマホの充電器、バッテリー
- ・アルミブランケット（寒さ対策）



家族などの安否確認

家族や知人の安否を確認する手段としてSNSなどが活用されました。複数の連絡手段を用意しておきましょう。

<安否確認方法（例）>

- ・名古屋市防災アプリ
- ・災害用伝言ダイヤル（171）
- ・災害用伝言板（web171）
- ・各社安否確認サービス
- ・SNS（LINE, X, Facebook, Instagram）

無事
です

南海トラフ地震臨時情報とは



8月8日、日向灘沖を震源とするM7.1の地震が発生したことに伴い、同日、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されました。この情報は発表後、1週間以内に巨大地震発生の可能性が高まったことをお知らせするものです。今回が、2019年運用開始後初めての発表となり、名古屋市でも非常災害発生に備え、準備態勢を取りました。

漫画でCHECK▽



<南海トラフ地震その日が来たら>

名古屋市消防署

お気軽にお電話ください。
☎052-231-0119

中消防署ホームページでは防火・防災に役立つ情報を掲載しています⇒

